

**注意点1**

**理論**

**3フィンガーがフィットするリズム・パターンを確認せよ**

8分音符や16分音符を主体にした偶数音フレーズは、拍子ごとに指順が変わるため、3フィンガーの最大の難関となる(図1)。逆に3フィンガーがハマりやすいリズムもある。その一例が梅フレーズのような3連符パターンだ(3連符は各拍子が3音なので、3フィンガーをスムーズにフィットさせられる)。また、竹フレーズのような、8分音符と16分音符で構成された通称“ズズク”パターン【註】も、1拍が3音刻みになるため3フィンガーで弾きやすい。したがって、3フィンガーは、まず梅や竹のようなリズム・パターンで練習するとよいだろう。また、複数弦フレーズより1本弦フレーズの方が、指順をシンプルに覚えることができるのでオススメだ。

図1 3フィンガーとリズムの関係

人 薬 中 人 薬 中 人 薬 中 人 薬 中 人

・16分音符主体

各拍子ごとにアタマの指が異なる。

薬 中 人 薬 中 人 薬 中 人 薬 中 人

・3連符主体

3音区切りなので、3フィンガーがフィットする。

**注意点2**

**右手**

**右手親指を的確に使って弦跳びをクリアに演奏せよ!**

いわゆるディスコ・ビート系パターンとなるメイン・フレーズは、各拍子が3音刻みになるため3フィンガーで弾きやすい。ただし、弦跳びを多用するので、やや難易度が高いのだ。ルート音を人差指、オクターブ上のルート音を薬指→中指という流れでピッキングしていくが(写真①~④)、このような弦跳び時には、低音弦のノイズが出やすいので、ミュートに気を配る必要がある。人差指のピッキング後に弦跳びする時に、右手親指をルート音の弦上に移動させて、余計な振動を抑えるとよいだろう。3フィンガーはもちろん、右手親指にも意識を持って、クリアなサウンドを目指してほしい。

① まずは4弦を人差指でピッキングする。

② 弦跳び時に、親指を4弦上に移動させてミュート!

③ 続いて、2弦を薬指でピッキングして……

④ 最後に中指で2弦を鳴らそう。

~コラム13~

**将軍の戯れ言**

ベース・ヒーローの条件とは何か? それは多数あるが、1つだけ確実に言えることは、所属バンドの人気の大きさだ(どれだけ凄腕でも、それだけでは認知度は上がらない)。あのビリー・シオンも、デイヴィッド・リー・ロスバンドへ参加したことや、MR.BIGで全米チャート1位を獲得したことが大きかったと思う。もし彼の活動がタラスのみだったら、これほど注目されることはなかったかもしれない。アイアン・メイデンのスティーブ・ハリスや、ラッシュのゲディー・リーもロック・ベース界のヒーローだが、やはり所属バンドの人気も絶大だ。

**テクニックだけでは頂点には立てない!? 著者によるベース・ヒーロー考察**



**デイヴィッド・リー・ロス**  
『イト・エム・アンド・スマイル』  
スティーヴ・ヴァイとビリー・シオンによる“驚異の共演”を存分に堪能できるハード・ロック/ヘヴィ・メタルの名盤。



**MR.BIG**  
『MR.BIG』  
ビリー・シオンを中心に結成した凄腕4人組の1st作。ブルースを基調にした、完成度の高いハードロック・サウンドを聴かせる。

【“ズズク”パターン】 アイアン・メイデンを筆頭に、1980年代に登場したヘヴィ・メタルバンドが多用了リズム・パターン。リズムの構成が、1拍の中に8分音符1個+16分音符2個となっているのが特徴だ。